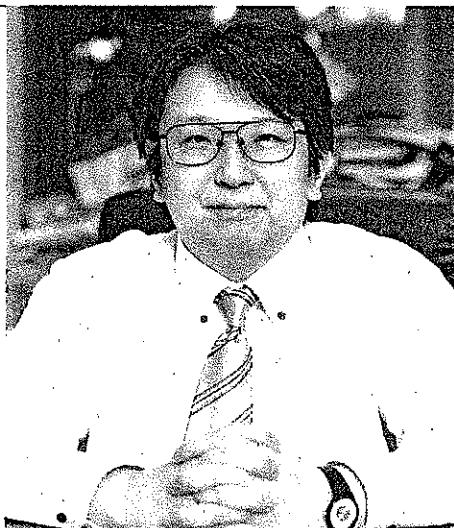


コロナ危機 介護現場の窮状

淑徳大学教授(社会福祉学) 結城 康博さん

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の解除後も、介護現場の窮状は続いている。『20年間の介護政策のツケがまわってきたんです。今回を教訓に、抜本的基盤整備を急ぐ時です』と言う結城康博・淑徳大学教授（社会福祉学）に、現場の実態や対策について聞きました。（聞き手・松田大地）

(聞き手・松田大地)



卷之三

ゆうき・やすひろ 1969年生まれ。社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー。介護現場で勤務経験を持つ。著書は「介護職がいなくなる ケアの現場で何が起きているのか」「突然はじまる！親の介護でパニックになる前に読む本」など多数。

人手不足悪化は抑制政策のツケ
第2波前に抜本的基盤整備早く

結城教授の調査に寄せられ
要望・意見など(手写連で一部)

全産業平均1・38倍に対し、
介護分野は3・8倍です。非
正規職員は介護施設系で4
割 ヘルパーなど訪問介護系
は7割を占めています。

介護事業所に支払われる介
護報酬の抑制によって経営難
も深刻化しており、昨年の倒
産件数は過去最多の水準に並
みました。

こういったシケが明確にな
ったのがコロナ問題でした。
これを教訓に、抜本的な人員
確保と結びサービスの充実が
必要だと社会全体が気付いて
ほしく。

具体的な対策を教え
てください。

低賃金を引き上げて人員確
保を進めるべきです。もちろ
ん、職員のみなさんはお金の
ためだけに働いているわけ
はありません。しかし、高齢
者の健康や暮らしを支える使

介護分野は33・8倍です。非正規職員は介護施設業界で4割、ヘルパーなど訪問介護業界は7割を占めています。

介護事業所に支払われる介護報酬の抑制によって経営難も深刻化しており、昨年の倒産件数は過去最多の水準に並みました。

こういったツケが明確になつたのがコロナ問題でした。これを教訓に、抜本的な人材確保と給付サービスの充実が必要だと社会全体が気付いてほしく。

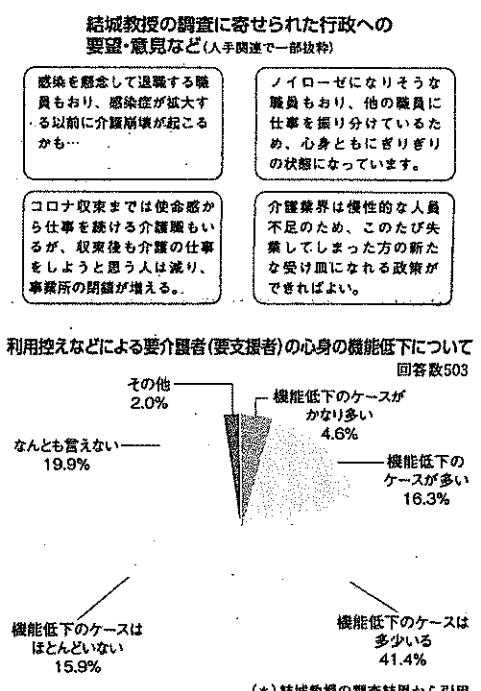
田を計上したのは高く評価されています。「慰労金」として、新型コロナの感染者対応した事業所の職員に20万円、それ以外の事業所の職員に10万円を支給するといったのは、介護団体なども要望してきたことであくまでもあらざる。

ただ、2次補正はあくまで1段階目です。平時からの人手不足を解消するには、雇用調整助成金を促進の呼び水的な予算措置など、すでに議論が始まっています。

――具体的な対策を教えてください。

田を計上したことは極く評議されていました。「慰労金」として、新型田口ナの感染者らに応した薬業所の職員は20万円。それ以外の事業所の職員は5万円を支給されましたのは、介護団体なども要望してきたことである。これらが動機ではないか。

ただ、2次補正はあるまで手不足を解消するには雇用促進の認めた予算措置が、すでに議論が始まっています。2020-21年度の介護報酬改



（中）既設施設の開拓と未だうけた
生用品が足りない問題もあります。
特に小規模事業所は、
自前で賣うのは採算性が合わ
ず、國からの配給に頼らしか
ありません。政府は衛生用品
を早急に確保して、少しだも
配給できるように感染症対策
を徹底すべきです。

優先の施策として「介護報酬」です。改定率が決まる前の「アップ」や「スタッフの確保」半年間しっかり声をあげな
施策を求める声が数多い寄せられました。
いたいとびかけません。

いいの？」介護サービスを減退させるわけにはしません。「介護の社会化」という介護保険制度の理念を実現するため、社会の空氣を変えたい。